

⑧ リサイクルプラザの仕組み

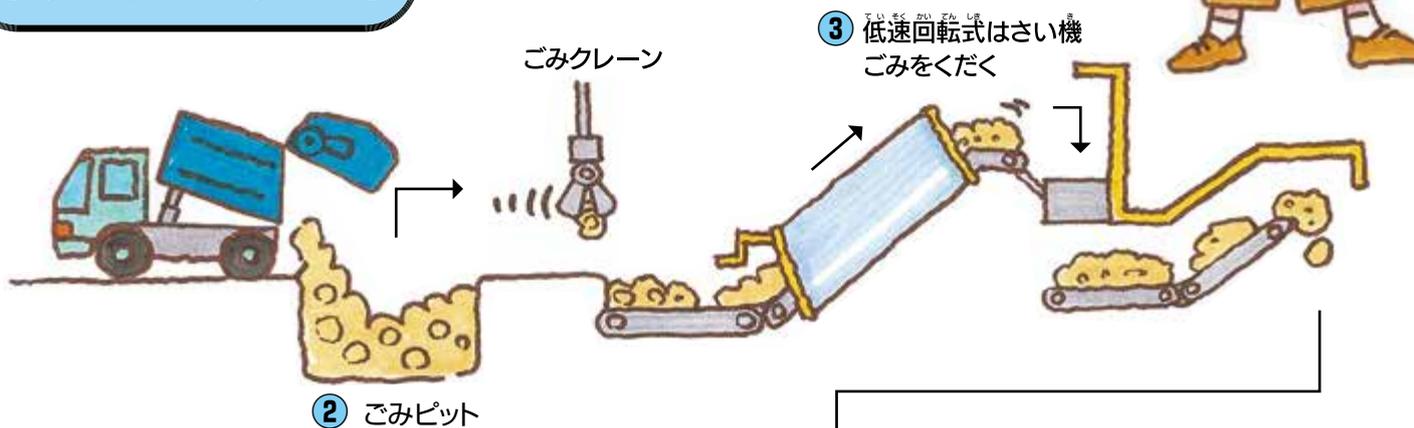
ごみをできるかぎりリサイクルするため、1998年（平成10年）6月に、赤松町に安城市リサイクルプラザが完成しました。

ここには、もやせないごみ、使えないそ大ごみ、空きかん、空きびんが運ばれてきます。それぞれ図のような流れで処理されます。

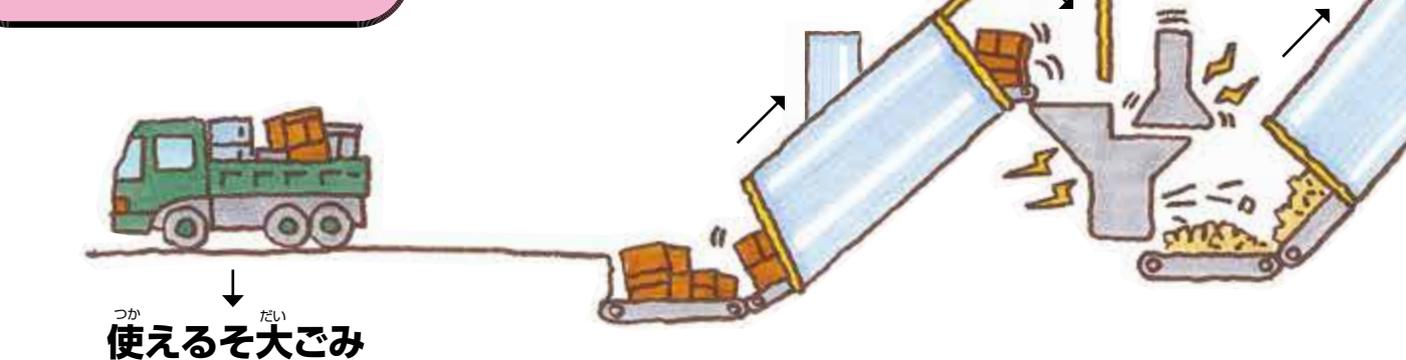


① トラックスケール
ごみの重さを量る

もやせないごみの流れ



そ大ごみの流れ

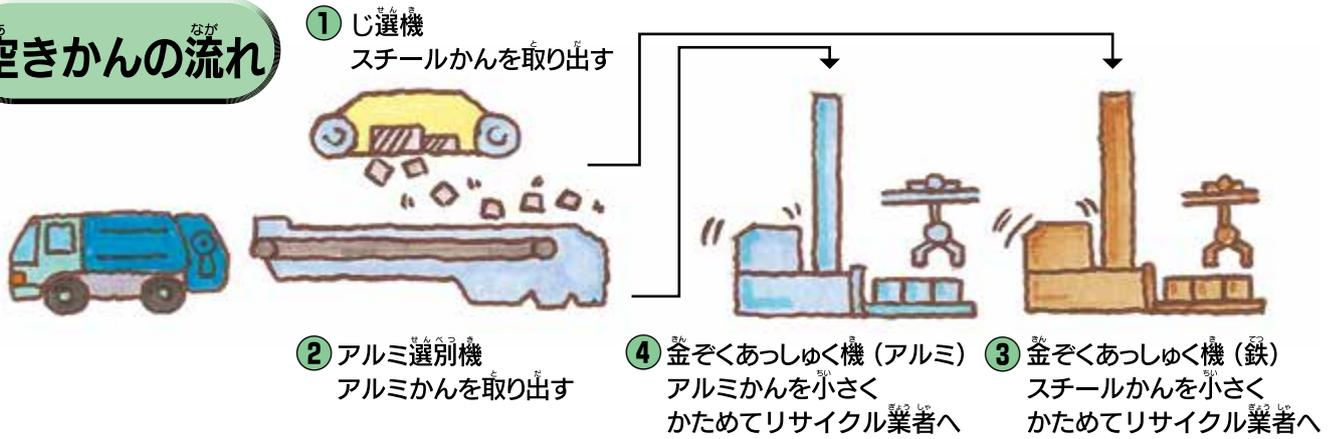


つか
↓
使えるそ大ごみ

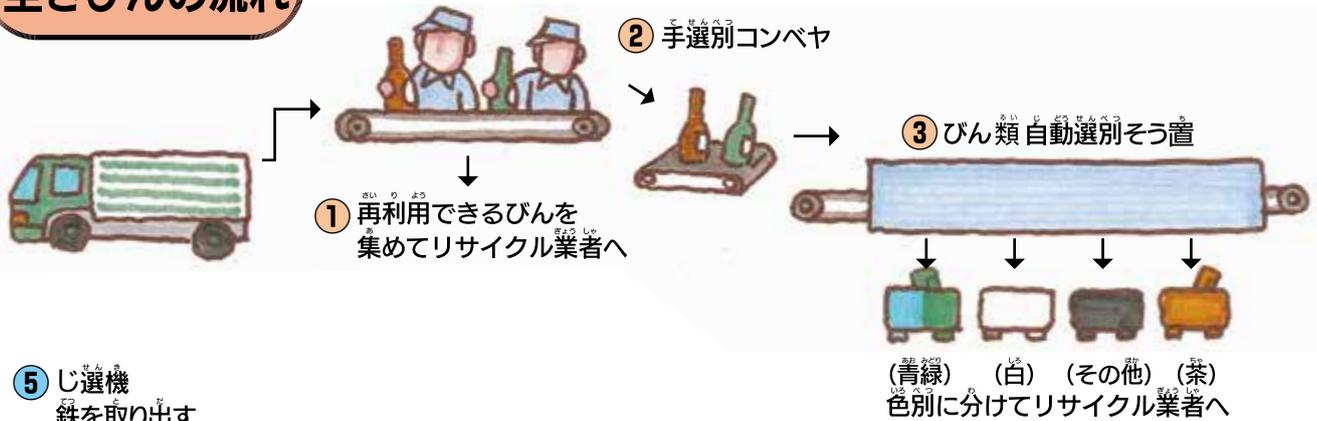
きれいにして、入札方式ではん売する



あ なが 空きかんの流れ



あ なが 空きびんの流れ



⑤ じ選機
鉄を取り出す

⑥ りゆじゆ度選別機
(しんご)
(ごんご)

⑦ アルミ選別機
アルミを取り出す

鉄を集めて
リサイクル
業者へ

もやせない
ごみを集めて
うめ立て場へ

アルミを集めて
リサイクル業者へ



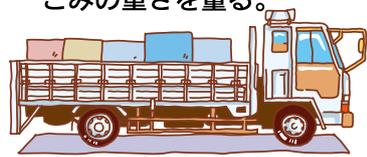
かんきょうクリーン
センターへ

もやせないごみとそ大ごみのしょ理

もやせないごみとそ大ごみは、2つの機械を使って細かくくだいて、鉄とアルミを取り出しています。
1日43トンのごみをしょ理することができます。

リサイクル業者へ

①トラックスケール
ごみの重さを量る。

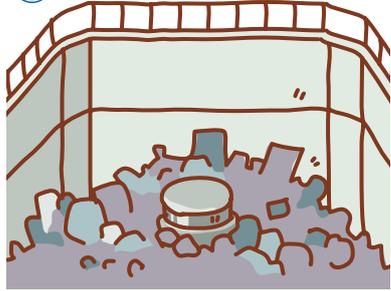


もやせないごみ

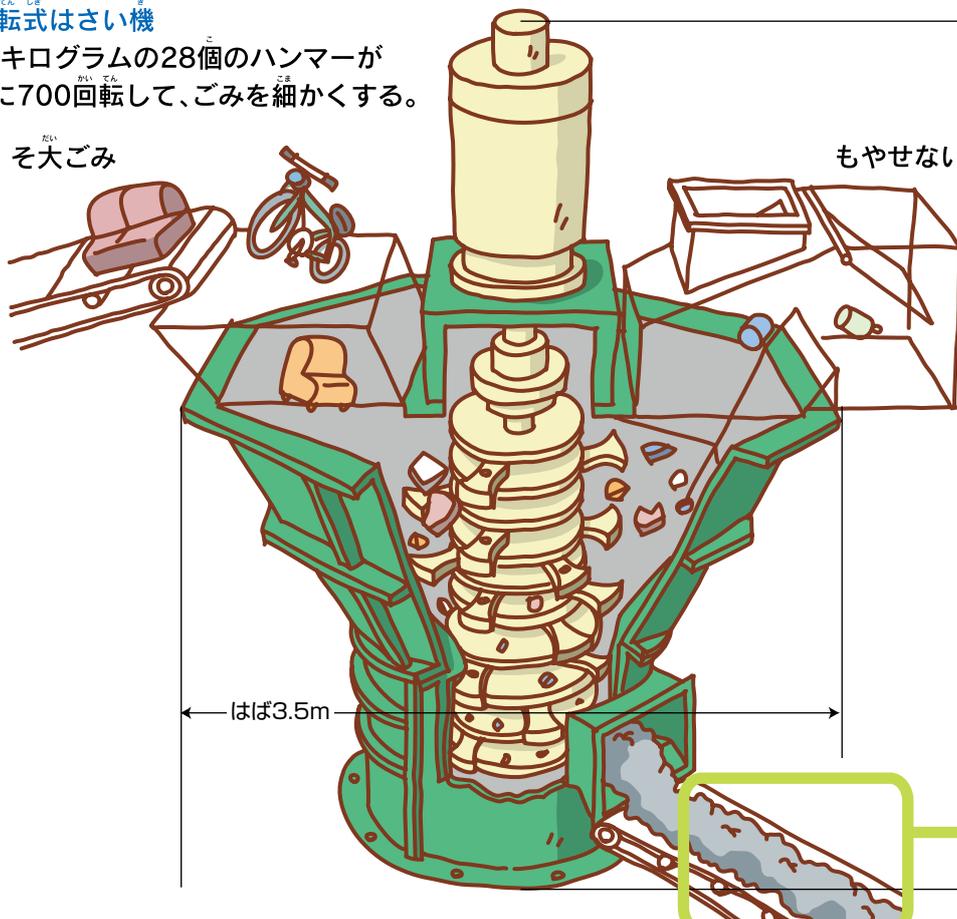
●き金ぞくが多くふくまれているゲーム機、けい帯電話、家庭用電化せい品、パソコンやこうしつプラスチックなどを手作業で分ける。



②ごみピット



④高速回転式はさい機
重さ30キログラムの28個のハンマーが1分間に700回転して、ごみを細かくする。



そ大ごみ

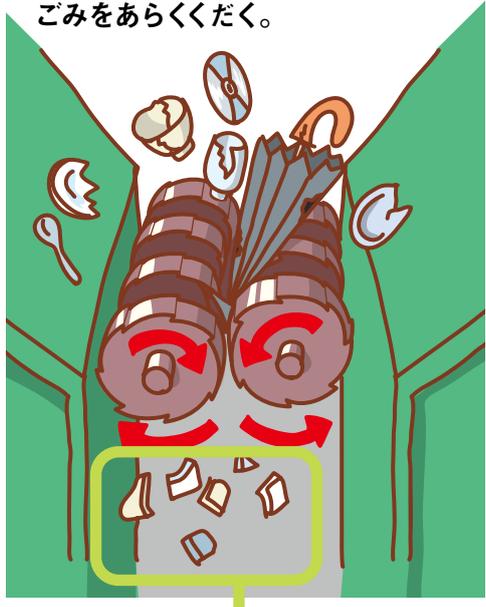
もやせないごみ

高さ5.6m

ほぼ3.5m

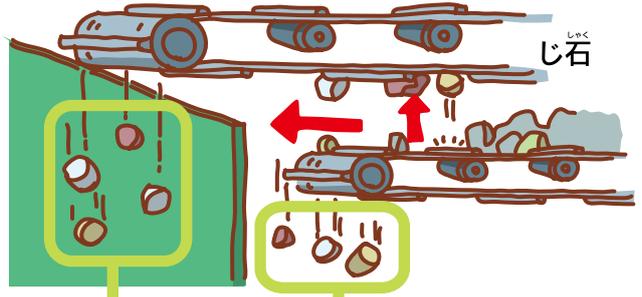
③ 低速回転式はさい機

重なり合って回転する2つのカッターが、1分間に最大で28回転して、ごみをあらくたく。



⑤ じ選機

じ石を使って鉄を取り出す。

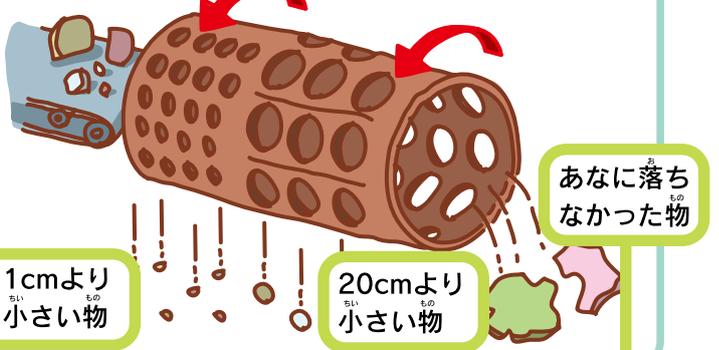


鉄

鉄以外の物

⑥ リゆう度選別機

くだかれた物を大きさごとに分ける。



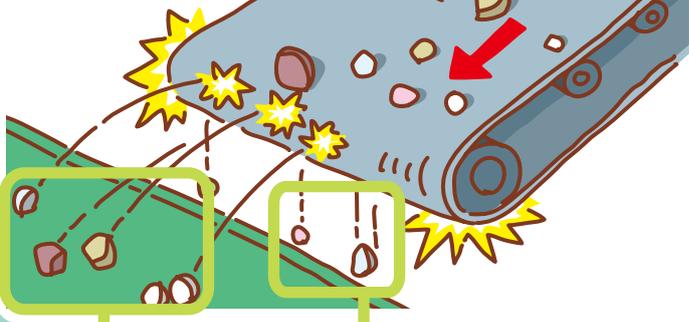
1cmより小さい物

20cmより小さい物

あなに落ちなかった物

⑦ アルミ選別機

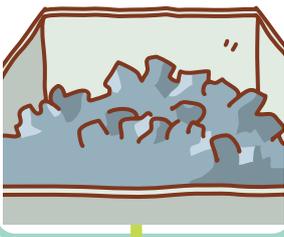
電気の力を使ってアルミを取り出す。



アルミ

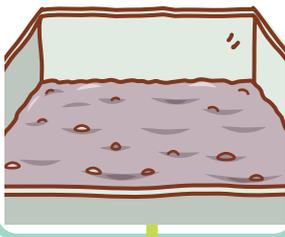
アルミ以外の物

●鉄



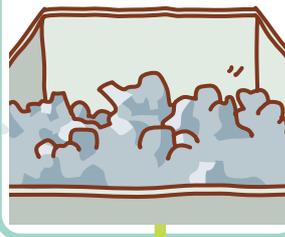
リサイクル業者へ

●不ねん残さ



うめ立て場へ

●アルミ



リサイクル業者へ

●かねん残さ



かんきょうクリーンセンターへ

かんのしょ理

かんにはスチールかんとアルミかんの2種類しゅるいがあります。
 それぞれの種類ごとにあっしゅくして運びやすい形にします。
 1日6トンの缶にち かんをしょ理りすることができます。

●トラックスケール
 ごみごみの重さはかりを量る。

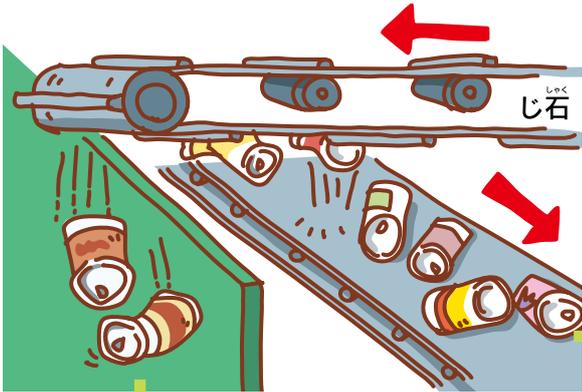


●かん受入ホツパ



①じ選機

じ石じしを使って鉄てつ（スチールかん）を取り出す。



スチールかん

②アルミ選別機

電氣でんきの力ちからを使ってアルミかんを取り出す。



アルミかん

③金ぞくあっしゅく機

小さく固める。



あっしゅくした後の大きさ

縦 <small>たて</small>	43cm
横 <small>よこ</small>	56cm
高さ <small>たかさ</small>	14cm
缶 <small>かん</small>	約750個
重さ <small>おもさ</small>	35kg

④金ぞくあっしゅく機

小さく固める。



あっしゅくした後の大きさ

縦 <small>たて</small>	43cm
横 <small>よこ</small>	56cm
高さ <small>たかさ</small>	14cm
缶 <small>かん</small>	約950個
重さ <small>おもさ</small>	18kg

かんの中なかにごみなどが
 入はいっていたりすると、
 機き械がで正ただしく分わかける
 ことことができません。



リサイクル業者ぎょうしゃへ

リサイクル業者ぎょうしゃへ

かんは中なかをからっぽに
 してからすてね。



びんのしよ理

びんには生きびん（リターナブルびん）とワンウェイびんの2種類があります。
 生きびんは、そのままくり返し使うことができます。
 ワンウェイびんは、機械で色別に分けて、それぞれリサイクルされます。
 1日9トンのびんをしよ理することができます。

●トラックスケール
ごみの重さを量る。



①生きびんの選別
生きびん(ビールびん、いっしょうびんなど)を手作業で分ける。



リサイクル業者へ

②手選別コンベア
ワンウェイびんをコンテナに入れて自動選別そう置に送る。



③びん類自動選別そう置 機械でびんを色ごとに分ける。

色はん別そう置



この部分で色をはん別しているんだ。

●青緑色のびん



●白色のびん



●茶色のびん



リサイクル業者へ

⑨ せん定しリサイクルプラントの仕組み

※「たいひ」とは植物の成長を助けるために土にまぜるものことです。

赤松町のせん定しリサイクルプラントは、2001年（平成13年）4月に完成しました。ここでは、庭や道路の木から切ったえだをたいひにして、農家や市民に配っています。1日4.8トンのせん定しをしょ理することができます。

●トラックスケール
ごみの重さを量る。



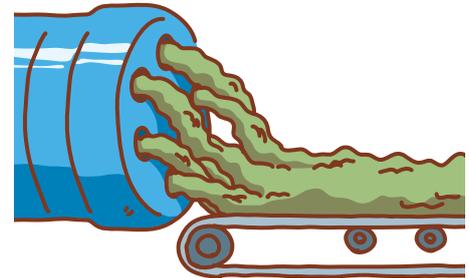
●一次はさい機
5cmくらいの大きさに細かくする。



●二次はさい機
2～3cmくらいの大きさに細かくする。

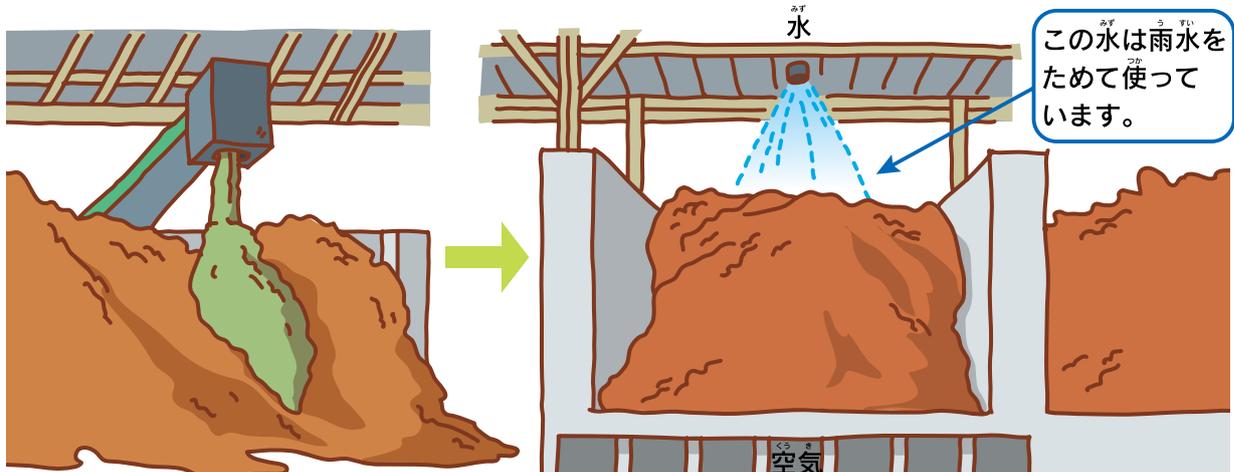


●しょくせん機（ぼうじゅんしょ理機）
えだのせんいをほぐして、細かくする。



●発こう場

上から水をかけたり、下から空気を送ったりしながら、約6か月間自然発こうさせて、たいひにする。



10 しげん化センターの仕組み

ペットボトルのしよ理

ペットボトルをあっしゅくして運びやすい形にします。
1日2.5トンのペットボトルをしよ理することができます。

●リサイクルプラザの
トラックスケール
ごみの重さを量る。



●選別

手作業で「ペットボトルではない物」を分けたり、キャップが付いたままの物からキャップを取り外す。



●ペットボトルあっしゅく機
小さく固める。

あっしゅくした後の大きさ



縦	43cm
横	64cm
高さ	35cm
重さ	15~20kg

リサイクル業者へ

ペットボトルのすて方



キャップとラベルを取る

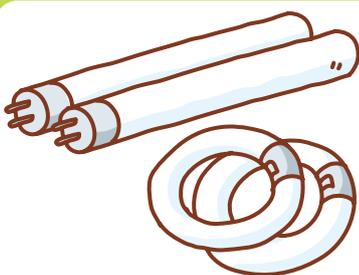


あらってつぶす



リサイクルステーションや学校やスーパーなどの回しゅうネットに入れる

けい光管のしよ理



リサイクル業者へ

かん電池のしよ理



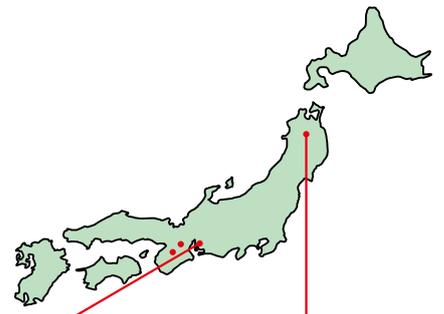
リサイクル業者へ

11 うめ立て場

かんきょうクリーンセンターから出た焼きゃくばいやリサイクルプラザから出た不ねん残さは、環境をよごすことがないよう設備のととのったうめ立て場にうめ立てます。

焼きゃくばいのしょ理

愛知県武豊町や秋田県小坂町、三重県伊賀市、奈良県御所市にあるうめ立て場にうめ立てます。



不ねん残さのしょ理

榎前町にあるうめ立て場にうめ立てます。

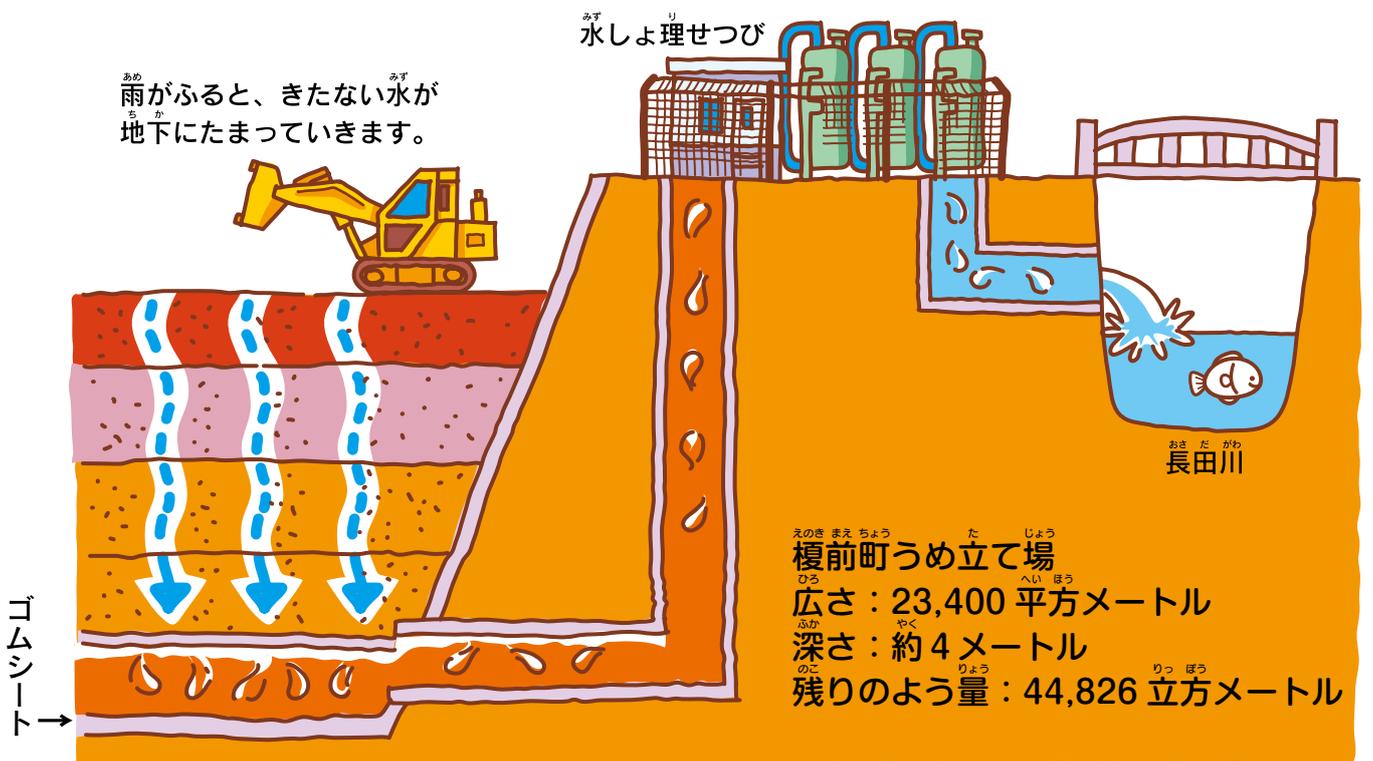


うめ立て場のほり起こし

榎前町のうめ立て場は1987年（昭和62年）6月から使い始めました。その時はまだリサイクルプラザが無く、もやせないごみやそごみをそのままうめていたので、うめ立て場がすぐに一ぱいになってしまいました。

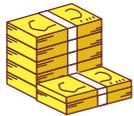
そこで、2004年（平成16年）9月から5年間かけてうめ立て場をほり起こしました。うめ立てたごみをもう一度「リサイクルできる金ぞく」「もやせる物」「もう一度うめ立てる物」に分別したのです。

こうしたことで、うめ立て場にはまたごみをうめ立てることができるようになりました。もちろん何十年か後には、またうめ立て場が一ぱいになってしまうこととなります。今のうめ立て場を長く使うために、ごみを減らしたほうがいいですね。



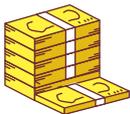
12 ごみのしよ理にかかるお金

① しゅう集にかかるお金



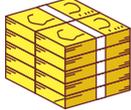
8億4,025万円

② 細かくくたく・選別にかかるお金



7億5,908万円

③ 焼きやくにかかるお金



9億9,119万円

④ 焼きやくばい・不ねん残さのしよ理にかかるお金



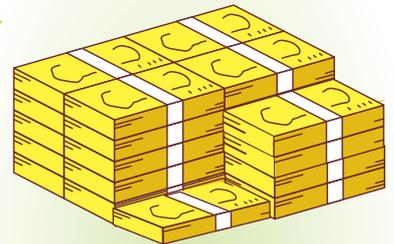
3億437万円

⑤ せん定しのしよ理にかかるお金



8,281万円

全部たすと
29億7,771万円



市民1人当たり直すと、
約15,850円の負担です。



こんなに
かかるんだ!!



2024年度（令和6年度）の1年間で、ごみのしよ理に29億7,771万円のお金を使いました。これは、小学校1校を建てるのに必要なお金と同じくらいの金額です。このお金は安城市に住んでいるわたしたちのぜい金が使われています。

もやせるごみのふくろの中に、古紙やペットボトルなどのしげんごみが入っていることがあります。きちんと分別すればもやせるごみの量が少なくなり、かんきょうクリーンセンターから出てくる焼きやくばいの量が減ります。

しよ理するごみの量が減れば、使われるぜい金も減りますし、うめ立て場を長く使うことができます。

わたしたちのぜい金を有こうに使うためにも、ごみは減らしたほうがいいですね。



2 アール かつ どう げん りょう 4R活動とごみ減量

わたしたちは、物を「買う」「使う」「すてる」ことをくり返して生活しています。しかし、物を作るための材料やしげんは、ずっと無くならないというわけではありません。地球の限りあるしげんを守るために、わたしたちがくらしの中でできることを考えてみましょう。

1 アール かつ どう 4R活動って？

4R活動とは、かんきょうのことを考え、ごみを減らすためのキーワードの4つの頭文字 (R) をとったものです。

リフューズ (Refuse) / 断る

- ・スーパーのレジなどでいらないレジぶくろを断ります。
- ・すぐにいらなくなるものをもらわないようにします。



リデュース (Reduce) / 減らす

- ・食べ物をごみにしないように、残さず食べます。
- ・家具やかばんなどがこわれても、修理をしながら長く大切に使います。



リユース (Reuse) / もう一度利用する

- ・リターナブルよう器に入った製品をえらんで買い、使い終わったらリユース回しゅうに出します。
- ・いらなくなった物は、バザーやリサイクルショップに出します。



リサイクル (Recycle) / もう一度しげんにする



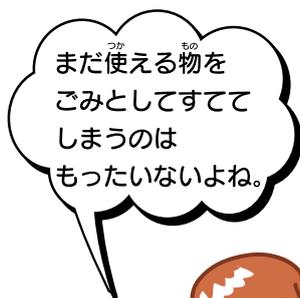
- ・古紙、古着、プラスチックしげん、ペットボトルなどのしげんごみをきちんと分けます。
- ・リサイクル製品をえらんで買います。

4Rのうち、リサイクルがもっとも知られていますが、ごみとなってしまうものを減らせば、リユースもリサイクルもいらなくなります。わたしたちにどんなことができるのか考えてみましょう。

安城市では、こんな取り組みをしています。

② リユース品入札はん売

市は、ごみのしよ理量を減らすためと、物を大切にすることをよびかけるために、リサイクルプラザに運ばれたごみの中から、まだ使うことができる家具などをきれいにして入札方式ではん売しています。



③ 集だんしげん回しゅう

もう一度しげんとして使える物を、町内会や子ども会、PTAの人たちで回しゅうしています。

集だんしげん回しゅうの量

2024年度(令和6年度)には、これだけの量のしげんが回しゅうされました。

- ・古紙：1,274トン
- ・かん・鉄：13トン
- ・古着：31トン

④ リサイクルステーション

市は、スーパーのちゅう車場などにリサイクルステーションをせつ置しています。リサイクルステーションでは、古紙、古着、ペットボトル、けい光管、かん電池、コイン型電池、小型電子機器、小型じゅう電式電池を回しゅうしています。毎日しげんごみを出すことができるのでとても便利です。

古紙の仲間たち

古紙はリサイクルのゆう等生です。もやせるごみにはしないでね！

- ・新聞
- ・ダンボール
- ・牛にゆうパック
- ・ざっし
本、ノート、教科書、辞書、カタログなど
- ・ざつがみ
学校のテストやプリント、葉書、紙箱、包そう紙、
トイレットペーパーのしん、ティッシュの箱など



⑤ 総合リサイクルステーション(エコらんど)

赤松町のせん定しリサイクルプラントの南に2014年(平成26年)1月に完成しました。ここでは、他のリサイクルステーションで出すことができるしげんごみの他に、びん、かん、きけんごみ、プラスチックしげん、家庭用電化せい品、こうしつプラスチックせい品、羽毛布団、会社やお店から出る古紙なども出すことができます。